



2023年6月20日

各 位

上場会社名 塩水港精糖株式会社
代表者名 取締役会長兼社長 久野 修慈
(コード番号 2112 東証スタンダード市場)
問合せ先責任者 常務取締役 小田 俊一
(TEL 03-3249-2381)

大東製糖株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社（以下「塩水港精糖」といいます。）は、本日開催の取締役会において、大東製糖株式会社（以下「大東製糖」といいます。）との間で、業務提携に関する基本契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 業務提携の背景並びに目的

世界的気候変動、ウクライナ情勢を始めとした地政学リスクの高まりに加え、砂糖の価格調整制度の構造的な歪みもたらす過重な調整金負担等により、砂糖業界はこれまでにない変革を迫られております。大手メーカーによる再編合理化が進む中、塩水港精糖、大東製糖の両社といたしましても未来に向けた新たな取り組みを進めていくべきと考えております。

こうした状況の中、昨年11月10日に、大東製糖が塩水港精糖の筆頭株主（三菱商事株式会社保有の当社株式を同社へ円滑に移管、三菱商事と当社の原料糖取引は積極的に継続。）となるとともに、両社業務提携の検討を開始する旨、お知らせいたしました。

両社の特色、強みを活かし、シナジーを最大限に生み出すべく、協議・検討を重ねて参りました結果、以下のとおり、相互に対等の立場で生産開発・販売等、多方面に亘る提携を行うこととなりましたので、改めてお知らせいたします。

2. 業務提携の内容

本件提携の内容は以下のとおりです。

・ 業務提携における各種事業推進について

① 両社事業の更なる強化推進

- ◇ 両社既存事業の再整備を促進し、重点事業を強力に推進することで、両社が相互に成長発展し高めあう経営基盤を確立するとともに、将来へ向かった施策を促進する。
- ◇ 販売の一体化を進め、両社の横断的な連携強化・効率化を図る。
- ◇ 国外事業の展開と推進強化を図る。

② 新事業・新商品・新分野への強化推進

- ◇ 両社の新たな発展を期し食品加工、化学分野等に強力に取り組むと共に内外分野の事業開拓を進める。両社において蓄積された研究開発及びバイオ関連事業の見直し、活用を図る
- ◇ 発売から30年を迎える塩水港「オリゴのおかげ」、含蜜糖の国内トップシェアを誇る大東の「素焚糖」の国内外への市場開拓・拡大を強化し、更に両社のノウハウを結集し、お客様に夢を与え得る『ユーモア』な新製品開発に全力を注ぐ。

③ 今後の課題解決へ向けた積極的推進

- ◇ 生産体制の強化・効率化
- ◇ 物流面の総合的な効率化推進
- ◇ 人材活性化、育成強化

- ④ 砂糖制度の健全化対策への強化推進
他甘味(異性化糖、加糖調製品、高甘味度甘味料等)との不均衡・不公正な現行制度を根本的に是正し、制度健全化(国産糖保護財源は国の負担に切り替える等)を図ることにより、砂糖需要の回復・適正化を目指す。

- ⑤ 社会貢献活動の積極的推進
 - ◇ 気候変動・天災地変に対し、災害時の食料提供等を通じ地域社会へ貢献
 - ◇ S D G s の視点に基づく企業価値向上への取り組み

- ・ 「事業推進本部」を設置

上記施策並びに提携によるシナジー創出、将来的な両社統合を基本に、その推進、事業の確立整備を図るための統括組織として「事業推進本部」を設置し、早急に対応する。

- ◇ 統合を基本に新事業計画を推進
- ◇ 両社新事業・新製品の計画立案、マーケティング並びに開発
- ◇ 両社システムの改善・強化、両社生産性と協業体制の推進
- ◇ 上記施策を実施するための人材強化・外部人材登用

3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名称	大東製糖株式会社	
(2) 所在地	千葉県千葉市美浜区新港4-4番	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 木村 成克	
(4) 主な事業内容	各種砂糖の製造	
(5) 資本金	100 百万円	
(6) 設立年月日	1952 年 7 月 26 日	
(7) 大株主及び持株比率	大東株式会社 30.0% 株式会社ナピネス 19.0% 従業員持株会 8.7%	
(8) 上場会社と当該株主の関係	資本関係	2023 年 3 月 31 日時点における当該会社の当社普通株式の持株比率は 11.6%です。
	取引関係	当社は当該会社と精製糖の等量交換生産の取引を行っております。
	人的関係	当該会社代表取締役社長 木村 成克氏は、当社の代表取締役副社長を兼任しております。 なお、本年 6 月 29 日開催予定の当社定時株主総会並びにその後の取締役会において承認決議された場合、同氏は当社の代表取締役社長に就任の予定です。

※「当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態」については、当該会社の意向により非開示とすることを求められているため、記載しておりません。

4. 業務提携契約締結日

2023 年 7 月 1 日 (予定)

5. 今後の見通し

本業務提携契約の締結は当社の企業価値の向上に繋がるものと考えておりますが、現時点では業績への具体的な影響等は未定であります。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかに公表いたします。

6. 両社トップの本提携に対するコメント

◆塩水港精糖株式会社 代表取締役会長兼社長 久野 修慈

来年 120 周年を迎える弊社は、台湾時代にも各種拓殖事業やアルコール製造等、砂糖のみならず、新しい挑戦を続けてきた歴史を持っています。「オリゴのおかげ」もその一つであり、皆さんの健康な食生活に貢献し得る新たな付加価値を追求し続けて参ります。大東製糖もまた、含蜜糖の国内シェアトップを誇り、ベーカリー事業等、様々な新たな取り組みを進めている会社です。今般の業務提携により、両社は生産、開発、販売等のあらゆる面において、より多面的な事業展開を可能とし、ステークホルダー皆様のご期待に力強くお応えし得るものと確信しております。

弊社並びに大東製糖は、両社の歴史を相互に尊重し、両社それぞれの関係取引先との永きに亘る信頼協力関係を尊重することを基本とし、将来的な統合を視野に、今般の新たな協力体制の確立発展に全力を注ぐとともに、新たな時代変化に迅速に対処して参ります。

◆大東製糖株式会社 代表取締役社長 木村 成克

弊社は、千葉県、大阪府、鹿児島県に生産拠点を持つ中規模砂糖メーカーです。創業から 70 年にわたり中双糖、含蜜糖などの特殊な砂糖の領域に注力してまいりました。弊社の強みは、ベーカリーなどの店舗を運営し砂糖の用途を開発する取り組み、そして地域・社会貢献を基軸とし、常に新たな挑戦を続ける機動性と考えております。

塩水港と弊社は半世紀以上にわたり、生産、販売で連携をし、確固たる信頼関係を構築してまいりました。難局を乗り越え、希望ある未来を描くために、塩水港とパートナーとして手を取り合っていくことは、弊社にとりまして極めて自然な流れであります。

塩水港精糖との業務提携により、両者の強みを生かした開発・生産・販売体制を構築し、砂糖の未来を共に作るとともに、生活の基本である食を通して広く社会に貢献し得る会社を目指し、今後とも邁進して参りたいと思っております。

以 上